

令和3年8月24日(火)

新型コロナウイルス感染防止対策にともなう
第74回秋季岐阜県高等学校野球大会運営の基本的な考え方(ガイドライン)

一般財団法人岐阜県高等学校野球連盟

はじめに

各加盟校におかれましては、日頃より新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、生徒への御指導をいただいていることに感謝と御礼を申し上げます。コロナ禍で多くの制約を受けながらも本県の今夏選手権大会では、辞退校を出すことなく第103回全国高等学校野球選手権大会への出場校を決定することができました。大会の開催・運営にあたり、各加盟校における御理解と御協力、そして万全な感染防止対策の賜物でした。重ねて感謝と御礼を申し上げます。

本県は、新型コロナウイルス感染症対策にあたり、これまで様々な経験を積み重ねてきました。令和3年6月21日をもって「まん延防止等重点措置」区域から除外されてはおりますが、生徒や保護者を含め来場されるすべての方々に「安心と安全」な大会運営を実施するためには、これまでと同様、感染防止を徹底する必要があります。そのため、今夏選手権大会運営の基本的な考え方(ガイドライン)をベースとし、改めて今秋岐阜県大会へ向けて必要事項を整備しました。

これらの感染症対策を遵守した上で、今秋岐阜県大会を開催いたします。各加盟校におかれましては、本ガイドラインに沿って、感染防止対策の徹底に努めながらの大会運営になることへの御理解と御協力をお願いいたします。なお、今後の政府や岐阜県、県教育委員会、球場を所管する各自治体の感染症対策の追加措置等に伴い、本内容は変更する可能性があることにご留意ください。また、加盟校・大会出場校が生徒や職員の感染等で臨時休校になった場合は、部活動が学校教育の一環であることから、これまでと同様、出場辞退はやむを得ない措置と考えます(臨時休校の期間は、保健所の指導のもと県教育委員会が学校と協議して決定)。

今後、感染力の強さが指摘されている変異株による第5波の拡大が予想され、ワクチン接種の進捗も不透明な中で、今大会運営にあたってもお願ひする内容が多々あり、御不便をおかけします。しかし、「コロナだからできない」ではなく、「コロナでもできる」ことを考え、運営を行って参ります。趣旨を御理解の上、本大会ガイドラインに沿って、安全安心の中で、選手たちの潑刺とプレーする姿を、多くの方々に球場に足をお運びいただき、そして、応援していただけることを切に願ひます。

1 基本方針

本大会は、開催予定の第74回秋季東海地区高等学校野球大会への出場校を決定することを目的としています。今後日本高野連が示す都道府県大会運営に関するガイドラインに従い、選手や学校関係者の安全安心を最優先しながら、代表校を決定するまでの全日程を運営する予定です。

そのため、選手、保護者及びチーム関係者は、練習、試合、移動等にあたって、新型コロナウイルス感染防止対策の基本となる下記①から③を常に意識して行動してください。

- ①本ガイドラインにおいて、特段の定めがない限りマスクを着用してください。
- ②三つの密(密閉、密集、密接)を徹底的に回避してください。
- ③こまめに手洗い、手指消毒を行い、咳エチケットを徹底してください。

2 事前告知について

通常とは異なる大会運営となるため、来場を希望する方々に対して入場者の制限や観戦時の感

染への予防策対策の徹底（本ガイドライン項目3以降の記載内容）について、県高野連のホームページを通じて一般に広く告知します。

また、加盟校・大会出場校には、感染状況により、入場可能な条件や数等が変更となる可能性もあるため、各会場での不要なトラブルを避けるため各校関係者に必要な情報を速やかに関係者に周知していただけるようご協力をお願いいたします。

3 施設（球場）への入場者について

原則、令和3年7月8日付け「基本的対処方針に基づく催物の開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項等について」及び令和3年7月21日付け「コロナ社会を生き抜く行動指針」等に準拠し、感染状況を踏まえ、「有観客試合」とするか「無観客試合」とするかを選択します。

なお、感染状況が安定し、あるいは更に厳しい状況になり政府や行政、自治体の方針が変更された場合は、最新情報を参考にした上で、その都度対応を協議し、速やかに各校へ周知していく予定です。

(1) 入場者の基本的な考え方 [カテゴリー]

- ①大会運営関係者【大会役員、球場役員、審判員、補助員、警備員等】
- ②ベンチ人員【選手20名 記録員1名 責任教師、副部长、監督各1名 計24名】
- ③学校関係者【ベンチ人員以外の部員、学校職員、部員の保護者及び家族、野球部OB会メンバー、野球部後援会メンバー、野球部関係者（チームトレーナー等）、当該学校の一般生徒】

※③学校関係者の入場については、今夏選手権大会と同様に、学校管理下で各責任者が全員の健康状態、連絡先を把握し、入場前に大会本部へ入場者名簿を提出してください。

➡ 「(3) 大会当日施設（球場）に入る全参加者の把握」を参照

- ④メディア関係者【報道関係者、県高野連が許可した写真業者】
- ⑤その他【進路関係者】

新型コロナウイルス感染症が依然終息していない状況であり、本大会がきっかけでクラスターが発生させないためにも、観戦については以下の運用のいずれかを選択します。

【無観客試合】無料試合として、一般の観戦者は入場不可とする。

岐阜県下に緊急事態宣言の発令、あるいは、まん延防止等重点措置が適用された場合を想定

Level	スタッド利用	学校関係者の入場	一般観戦者
A	×	上記(1)②のみ入場可	×
B	○	上記(1)②及び上記(1)③のうちベンチ人員以外の部員、学校職員のみ入場可	×
C	○	上記(1)②及び上記(1)③のうち学校職員、部員の保護者及び家族まで入場可能 ※注1	×

注1：Level C の運用になる場合は、各校に運営協力費を依頼する。

【有観客試合】有料試合

行政が定めるイベントに関する事項を順守します。以下は、その参考資料です。

- ・コロナ社会を生き抜く行動指針（令和3年7月21日変更）
- ・「夏の感染リスクに十分な警戒を」及び「岐阜県新型コロナウイルス感染症対策（詳細版）」
- ・令和3年7月8日付け内閣官房新型コロナウイルス感染対策推進室長事務連絡「基本的対処方

針に基づく催物の開催制限、施設の使用制限などに係る留意事項等について」

Level	スタンド利用	学校関係者の入場	一般観戦者
X	○	上記(1)③のうちベンチ人員以外の部員、保護者入場可。	×
Y	○	上記(1)③のうちベンチ人員以外の部員の人数は除き、各チーム300人まで入場可能 ただし、応援団・チア、ブラスバンドによる応援は不可 *参考：今夏選手権大会の運用方法	×
		上記(1)③まで入場可 ※注2	
Z	○	上記(1)③まで入場可 ※注2 応援団・チア、ブラスバンドによる応援も可 *令和3年6月2日付け第103回全国高等学校野球選手権地方大会ブラスバンド入場に関するガイドラインを遵守	○

注2：入場者数は、上限5,000人又は球場収容定員（スタンド開放エリア）の50%以内（上限10,000人）のいずれか大きいほうを限度とする。しかし、県の規定及び使用施設（会場）が示す上限を超えてはならない。

(2) 入場制限対象者

以下に該当する方は、当日施設（会場）に入場できません。よく御確認ください。

ア. 過去1週間以内から来場日までに本人あるいは家族に下記①から④を含む体調不良のある方

①体温37.5℃以上 ②強い倦怠感 ③咳、咽頭痛、息苦しさなど ④味覚・嗅覚異常等の異変
イ. PCR等検査陽性歴があり、かつ下記①から④に該当する方

①有症状者では、発症日から10日未満かつ症状軽快後72時間以内

②症状軽快後24時間経過から24時間以上の間隔をあげ2回のPCR検査で陰性を確認できていない

③無症状病原体保有者で、陰性確認から10日未満

④検体採取日から6日間経過後24時間以上の間隔をあげ2回のPCR検査陰性を確認できていない

ウ. その他、以下の①から⑥に該当する方

①濃厚接触者として自宅待機中

②家族が濃厚接触者として自宅待機中

③家族に上記(2)ア.①の体調不良者がある

④海外から帰国（特に日本に入国）して14日以内

⑤マスク非着用の方（フェイスシールド・マウスシールドのみは不可）

⑥指定の「検温確認表」または各球場（市町）用の「健康チェック表」に氏名・連絡先等の必要事項の記入に協力いただけない方

(3) 大会当日、施設（球場）に入る全参加者の把握

大会に関わるすべての学校関係者は、試合毎に「試合・大会・チーム同行者 検温確認表」または各球場（市町）用の健康チェック表の作成・提出を義務付けます。また、試合開催2週間前からの行動歴（いつ、どこに行き、誰と会ったか）を記録しておいてください。

【学校関係者】

- ア. 感染者を確認した場合、速やかに周知できるシステムを各高校は構築しておいてください。
イ. 施設（会場）への入場予定者は次の手順で入退場してください。

- ①施設（会場）到着後、控え部員の検温等確認表、部員家族検温確認表、学校関係者検温確認表、野球部関係者検温確認表等にそれぞれのグループ毎に記入し、有料入場者数を確定してください。
- ②各高校が把握している各グループの代表者が上記確認表を大会本部に届ける。その際、「(2)入場制限対象者」に該当する方を申請しないでください。
※各グループの代表者：責任教師の各会場での受付時に、目印をお渡しいたします。
- ③各施設（会場）の指定場所で、球場役員が各グループの入場者数分の入場券をまとめて販売します。各グループ代表者は、入場券をまとめて購入し、それらを入場予定者に配布してください。
- ④入場可能時間になったら順番に手指消毒をしたのち、全員マスク着用で入場してください。
なお、入場の際は入場券の半券を係員に提示してください。
- ⑤試合途中でスタンドを出入りする際は、係員に入場券の半券を提示してください。
- ⑥原則、試合が終了したら完全退場となります。ベンチ人員以外の部員を中心に消毒作業を手伝い、完了後退場してください。

【一般観戦者】※有観客試合 Level Z の時に適用

- ア. 入場時に検温に御協力いただけない方、以下の①から⑩に記載する「観戦に関するお願い」に同意されない方の入場をお断りします。
イ. なお、各球場で入場者数の制限があります。上限に達しましたら入場をお断りしますので御理解ください。

「観戦に関するお願い」

- ① ご来場いただく約 2 週間前からのご自身の行動歴の記録にご協力ください。（提出を求められる場合がありますので、各自で保管し、大会終了後も 2 週間は破棄しないでください。）
- ②来場の際には、岐阜県高等学校野球連盟のホームページからダウンロードした「来場者カード」に必要事項を記入し、球場受付で提出してください。
※球場でも用紙を準備いたしますが、混雑を避けるため、事前にご準備をしていただくとスムーズに入場ができます。
※接触感染防止のため、筆記用具の持参に御協力ください。
※ご記入いただいた情報は、必要に応じて保健所等の公的機関に提供する場合があります。ご了承ください（提出をもって、ご同意いただいたものといたします）。
※提出日からおおよそ 1 ヶ月間連盟事務局で適切に保管した後、破棄いたします。
- ③非接触型体温計で 37.5℃未満であることと、当日の体調を球場役員が聞き取り、その内容を確認のうえ、入場可否を判断します。
- ④手指消毒をしたのち、必ずマスク着用で入場してください。なお、入場の際は入場券の半券を日付印が分かるようにして球場役員に提示してください。
- ⑤各施設（会場）にて、指定区域を設けます。球場内の掲示または、球場役員の案内に従って観客席にお座りください。
※学校関係者と一般観戦者の観戦場所を分けております。感染拡大防止の観点から、指定場所以外での観戦はおやめください。
※ソーシャルディスタンス（できる限り 2m、最低でも 1m）をとってご観戦ください。

- ※特に、飲食の際は、できるだけ人と人との距離をとるようにし、黙食を心がけてください。
- ※また、周囲に飲食中の方がいる場合は、声を出すことを控えるなどお気遣いをお願いします。
- ⑥試合途中でスタンドを出入りする際は、係員に入場券の半券を提示してください。
- ※ご着席後は、球場内は目的地を決めて移動することとし、球場内での不必要な移動、回遊を避けてください。
- ⑦熱中症予防にご注意ください。
- ※球場によっては、自動販売機の設置がありません。また、酷暑ため売り切れも予想されます。水分・塩分補給ができるものを各自ご持参ください。
- ※のどが渇く前に、水分・塩分補給を十分にしてください。
- ※凍ったペットボトルや氷のうなど、身体を冷やすものを持参されることをお勧めします。
- ※帽子を着用ください。日傘を利用される場合は、周囲をよくご確認の上、他の方の迷惑にならないようにご注意ください。
- ※無理をせず、少しでも体調が悪いと感じたら、お近くの大会役員までお申し出ください。
- ⑧観戦マナーの向上に御協力をお願いします。
- ※アルコール飲料の持ち込みは禁止です。
- ※学生野球を政治的、商業的に利用しないでください。
(日本学生野球憲章 第1章 第2条 学生野球の基本理念より)
- ※自席を離れての写真撮影やビデオ撮影は禁止です。特に偵察目的のビデオ撮影、および学生野球の動画を主催者及び学校の許可なく SNS に掲載することはおやめください。
- ※特にネット際でのビデオ撮影はしないでください。
- ⑨感染者との接触を通知する「接触確認アプリ (COCOA) の導入をお勧めします。
- ⑩帰りの際には、使用したエリアの消毒に御協力ください。

4 適切な感染防止対策を踏まえた施設利用の徹底について

各校の監督及び責任教師は、参加生徒及び教員の体調管理の徹底、学校関係者の健康チェック、入場者の制限や誘導、手指の消毒設備の設置、マスク着用の要請、「三つの密（密閉・密集・密接）」を徹底的に避け、クラスターの発生リスクを下げるために、それぞれの場面で以下の対策を講じてください。

(1) 大会に参加する全ての方に共通する感染症対策

大会に参加する全ての人（選手・顧問・大会役員・審判等、球場に入る全ての人）は、必ず当日の朝、自宅もしくは寮で検温を行い、平熱であることを確認して球場に入ってください。高熱の者や体調不良（倦怠感、咳、咽頭通等）人の参加は認めません。球場に入る際は、必ずマスクを着用してください。また、三密を避け、各所に設置された消毒液を使い、頻りに手指消毒をしてください。

- ①全参加者の手洗い、うがいを励行してください。
- ②試合当日までの体調管理と検温等の健康チェックをしてください。
- ③マスク及び消毒液等は、参加校で持参してください。
- ④会場への移動の際は、バスや乗用車に乗車する人数を制限し、マスクを着用し、車内での会話を控えるなど、各学校で責任を持って集団感染のリスクを避けてください。
- ⑤会場出入りの際にはマスクの着用、手指消毒を徹底し、試合前後のベンチやスタンドの消毒を行ってください。なお、球場責任者は、球場内の必要箇所（出入り口・ベンチ・トイレ等）に消毒液を設置し、常時手指消毒ができる体制をとってください。
- ⑥ベンチが狭く、「三つの密」の条件をクリアできない場合は、グラウンドの一部またはスタンド

の一部も使用することができます。この場合、当該校責任教師と球場責任者が、ベンチに入ることができる人数を決定します。

- ⑦次試合の出場チームは受付あるいは球場本部に「試合・大会 チーム同行者 検温確認表」等を提出した後、スタンド等で待機することができます。その際、十分に間隔を空け、密集を避けてください。
- ⑧使用した場所は自身で清掃・消毒し、ごみは必ず持ち帰ってください。

(2) 出場選手等の球場での留意点

ア. 球場内での行動

- ①ウォーミングアップ時、選手のマスク着用は義務付けません。ただし、球場外の観客近くでウォーミングアップをする場合はマスクを着用してください。
- ②走る・歩く運動においては、前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方等工夫した位置取りをしてください。
- ③活動前後や休憩時は、その都度マスクを着用してください。
- ④試合前後の飲食は、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話を控えめにし、咳エチケットを徹底してください。会話が必要なときはマスクを着用してください。
- ⑤食べ物の取り分けや飲み物の回し飲みを絶対にしないでください。
- ⑥試合中、素手によるハイタッチや握手を控えることとし、自身の目、鼻、口なども触らないように注意してください。
- ⑦控え室（長良川・大垣等）には荷物・チーム道具だけを置き、チーム全体で待機しないでください。

イ. 十分な距離の確保と声出し

- ①試合開始前、終了時に整列する際、選手は手を腰に当てて、隣の選手とぶつからない程度の距離を空けて挨拶を行ってください。試合終了後の校歌斉唱時も同様とします。
なお、相手チームと握手などは行わないでください。
- ②ダッグアウト前で円陣を組む時など密集にならないよう注意し、一定の距離を保ってください。なお、ダッグアウト前での声出しは禁止します。
- ③試合中に守備のタイムでマウンド上に集合する際はグラブで口を覆ってください。
- ④ダッグアウト内では密集にならないよう、できるかぎり人と人の距離を一定間隔に保ってください。
- ⑤試合中、ダッグアウト内は熱中症対策を十分に講じてマスクを着用してください。グラウンドで試合に出場している選手はマスクの着用を義務付けません（ベースコーチを含む）。
- ⑥試合後、大声での校歌斉唱は控えてください。

ウ. 消毒・清掃

- ①チームの共用用具として考えられるもの（バット、ヘルメットなど）は、こまめに消毒してください。
- ②市販されている界面活性剤含有の洗浄剤や漂白剤を用いて清掃することが求められます。清掃後に不特定多数の手が触れる可能性がある環境表面を清拭消毒することが重要です。

エ. ゴミの廃棄

会場設置のゴミ箱は使用せず、参加校で必ず持ち帰ってください。特に鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用してください。また、マスクや手袋を脱いだ後は必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒してください。

(3) 観客席における観戦時の留意点・注意喚起及び要請

- ①厚生労働省が開発した感染者との接触を通知する新型コロナウイルス接触確認アプリ COCOAの登録を推奨します。
- ②観戦時は、マスクを着用し、人と人との距離（1.5～2m）を十分とって観戦してください。
※放送やビジョンを用いて頻繁な注意喚起を促します。熱中症が懸念される場合は、「こまめな水分補給」「周囲の人と距離を十分にとれる場所でマスクを一時的にはずしての休憩」も状況に合わせて行います。
- ③観戦時に以下の行為は禁止します（飛沫感染、接触感染を防止するため）。
 - ・大声での声援、応援、校歌等の合唱（試合中、試合前後）及びエール
 - ・鳴り物の使用（ブラスバンド、太鼓などを含む）
 - ・得点時などのハイタッチや、座席の上に立ったり、一か所に集まったりする行為
 - ・タオル等を回す行為
 （参考）応援可能な事例
 - ・プレーの度の拍手（両手をメガホン代わりにして大きな声は発しない）
 - ・拍手での応援（自席で手を叩く程度で大きな声は発しない）
- ④消毒・清掃…（2）出場選手等の球場での留意点のウ.に準じます。
- ⑤ゴミの廃棄…（2）出場選手等の球場での留意点のエ.に準じます。

5 審判員及びメディア関係者について

球場入りする審判員及びメディア関係者にも毎日の検温、体調チェック、マスク着用を義務づけます。必ず当日の朝、検温を行い、平熱であることを確認してから球場に入ってください。高熱(37.5℃以上)の方や体調不良（倦怠感、咳、咽頭通等）の方の参加は認めません。

受付で検温確認表に必要事項を記載し、その後は連盟発行の ID を必ず携帯してください。

(1) 審判員について

- ①審判部についても、最大限の感染予防対策を要望します。
- ②審判控室は、使用する者が定期的に換気をし、座席の間隔は一定の距離を保ってください。
- ③審判部が使用する箇所すべてを使用後消毒してください。
- ③会場設置のゴミ箱は使用せず、ゴミは各自持ち帰ってください。

(2) メディア関係者について

- ①各メディアには、一社一日あたりの取材者を限定するなどし、全体の人数をできるだけ絞り込むよう要請します。カメラマン席の人数も制限します。
- ②選手や監督への直接取材は代表取材を原則とします。ただし、間隔をとって実施できるスペースがあれば、スタンドに取材エリアを設けることを妨げません。

6 大会前、大会中に体調不良者が発生したときの対応について

(1) 行動歴の記録について

陽性者が発生した場合、本人が発症 2 日前から現時点までの行動歴を明らかにし、接触した可能性のある者を特定しながら感染拡大を阻止することが重要です。参加校部員（記録員を含む）・指導者、運営役員、審判委員等、大会に関わるすべての者は、試合開催 2 週間前の行動歴（いつ、どこに行き、誰と会ったか）を必ず記録しておくようにお願いします。（以下：記録例）

日付	行先	滞在時間	接触者
8月15日	部活 学校球場	2時間	部員全員
8月16日	〇〇病院	1時間	担当医療従事者と受付人

(2) 大会前、大会中に体調不良者がいるチームの判断について

- ①大会前、大会中に参加校の選手及び家族に体調不良者が発生した場合、責任教師は速やかに県高野連に報告するとともに、保健所の指示・指導に従うことになります。
- ②保健所の指導のもと隔離措置、濃厚接触者の特定、PCR 検査の指示などがあります。当該校は感染者、感染が疑われる者の人数や行動歴、保健所の指示を踏まえ、当該校校長が参加の可否を判断してください。
- ② 県高野連は参加校校長の判断を尊重し対応します。しかし、当該校の感染状況（部内での集団感染や集団感染が予見されるなど）によっては出場を差し止めることもあります。
- ④濃厚接触者と特定された場合は、検査で陰性となっても、2週間の自宅待機となります。また、濃厚接触者でない場合も、検査後、陰性が確認されるまでは大会に出場することはできません。それ以外の指導者、登録選手でチームが組めれば大会に参加することは可能です。
- ⑤ただし、過去の保健所の判断では、大会期間中にチームに陽性者が出た場合、そのチームのほぼ全員が濃厚接触者あるいは検査対象者となるため、当該校は原則、大会への出場を辞退することになります。
- ⑥大会参加申込書は「2021 岐阜県様式（様式 8・A4 版）」により学校長の決裁を取り、公印を押した書類 2 部を最初の試合会場の球場責任者に提出します。大会前（提出前）であれば選手の入替えは可能ですが、提出後の選手変更は認めません。
- ⑦なお、感染者や感染が疑われる者が発生した場合、大会日程は原則として変更しません。ただし、日程を繰り下げることで当該校の大会出場が可能な場合は、臨時の理事会を開き検討することもあり得ます。その場合、同一回戦の日程で日程変更を検討することを原則とします。
- ⑧大会会場にいた関係者に陽性が判明した場合、県高野連は保健所と連携し、その球場は当日と翌日は閉鎖し、消毒と濃厚接触者の確認作業を行います。
- ⑨上記の場合、試合の取り扱いや、その後の組み合わせ等については大会本部で判断します。
- ⑩一般観戦者については、連盟までご連絡いただくよう入場時に促します。
連盟は、任意で登録された連絡先に連絡を入れます。

7 その他

第 74 回秋季東海地区高等学校野球大会への出場校を決定することを目的に、全試合を完遂することを最優先に大会運営を行います。ただし、以下の①～④に該当する場合は大会自体を中止することもあります。

- ①主催者の日本高野連及び毎日新聞社が地方大会の中止を決定した場合。
- ②政府または岐阜県知事等（行政）から中止の要請があった場合。
- ③県内に緊急事態宣言が発令され、岐阜県教育委員会が県内高校を休校とした場合。
- ④大会でクラスターが発生し、感染者や濃厚接触者が複数チームに広がる等、県高野連として、大会の継続が難しいと判断した場合。

なお、本ガイドラインに記載されていない事象が発生した場合は、県高野連が協議のうえ、対応を決定します。